

学 年

第4学年（高等学校1年）

テーマ

人間と人間の文化について学ぶ

■学年を通しての学習の目標・ねらい

高等学校1年生の学習においては、グローバル化が進む現代社会に生きる生徒たちにとって大切になると考えられる、さまざまな文化に対する理解の仕方を身につけることを大きな目標とする。世界中のさまざまな文化はその時代、その土地に生きる人々の営みの中で生み出されたものであり、その人々の価値観に立って理解・共感しなければ本当に理解したことにはならない。先入観で見たり、自分たちの文化との違いを否定的にとらえることから、世界の人々の共生は生まれないと考える。

そこで、本テーマでは、年間を通して科学・芸術などのさまざまな文化事象を取り上げ、「このような文化事象は、なぜ、どのように生み出されてきたのか」ということを歴史的特質や地域的特質と照らし合わせながら、人々のものの見方・考え方との関わりの中で探究していく活動を設定する。そのような学習活動をとおして、生徒は文化理解の仕方を身につけ、さまざまな文化事象に出会った時にここでの学び方を生かすことができるであろう。つまり、自分の価値観だけでなく、その文化が生み出された社会の価値観で理解したり、共感したりすることができるようになるであろうと考える。そしてさらに、生徒が人間について考えたり、自分の生き方について考えたりしながら主体的に生きていくことにもつながっていくであろうと考える。

ここで身につけた能力は、第5学年のテーマ「言語の違いを越えて世界を学ぶ」における異文化理解の活動においても十分に発揮されると考える。

■学年を通しての評価の観点

本テーマの学習では、文化事象を自然科学分野と芸術分野から取り上げ、実験の再現や比較、表現や鑑賞の活動などを行いながら考えを深めていくため、内容や活動は多岐にわたることになる。そこで、ここでは、年間の学習を通じた評価の観点を大きく、関心・意欲・態度、学び方の能力、知識・理解という3つの観点で設定することにする。

【関心・意欲・態度】

様々な文化事象やその背景を知ることに関心をもち、実験、分析、調べ学習、表現や鑑賞、創作の活動に意欲的・創造的に取り組むことができたか。

【学び方の能力】

文化が生み出された社会の価値観や人々の営みにもとづいて理解するという、文化理解の仕方（枠組み）が身についたか。

【知識・理解】

人間の生み出した多様な文化の理解を通して、人間のあり方や生き方についての考えを深めることができたか。

この3つの観点は、「科学的にものごとをとらえるという近代的なものの見方・考え方について、実験・分析、調べ学習などの活動を通して探究する」自然科学分野と「東洋と西洋の文化を比較しながらその背景にある人々の生活、歴史的・地理的な特質から生じるものの見方・考え方について、表現や鑑賞、創作の活動を通して探究する」芸術分野の内容に応じてそれぞれ具体化されることになる。

■ 学年を通しての評価の方法

学年を通じた評価の観点を実際には次のような方法で評価していく。ただし、ここでは、全体の学習を通じた大まかな方法をあげることにする。

- ① 探究活動の様子を観察する。
活動の内容によってさまざまである。例えば、実験・観察の活動に意欲的に取り組んでいるか、作品づくりや表現・鑑賞の活動に意欲的・創造的に取り組んでいるかを授業における活動の様子を観察から評価する。
- ② 学習カード・ワークシートや提出物の内容で評価する。
学習カード・ワークシート、提出物へ書き込んでいる内容から読み取る。例えば、活動に意欲的に取り組み深く考えているか、考えたことや表現したいことが明確に伝わっているか。
- ③ 探究したことや学んだことを整理しまとめたレポートやグループ研究の発表をもとに評価する。レポートやグループ研究の発表の内容から、つぎのようなことを読み取り評価する。
 - ・その社会に生きる人々のものの見方・考え方をとらえているか。
 - ・自分とのかかわりの中でとらえているか。
 - ・わかりやすく表現できているか。
 - ・独創性はあるか、分析力・論理性はあるか。
- ④ 学年の活動のまとめのレポートによって評価する。
一年間で学習した単元（自然科学分野と芸術分野からの多様な内容）を通して、どのようなものの見方・考え方ができるようになったかを読み取り、評価する。

上記のような方法で評価していくことになるが、①と②については毎時間の観察や活動の様子としてつかんでおくことで、次の時間の生徒への支援となる。③は1単元の終了時点のまとめを評価し、④は1年間の学習を通じた評価であるため、③では各単元の学習を総合しての生徒のものの見方・考え方の深まりが、④では本テーマの目標でもある人間のあり方、自分の生き方などについてのものの見方・考え方の深まりを見ることができると考える。

人間と人間の文化について学ぶ

